



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 昭和真空

コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0385

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,447	△10.6	599	0.0	514	△11.2	426	△24.7
28年3月期第2四半期	4,976	39.0	599	543.0	579	745.2	565	731.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 323百万円 (△43.9%) 28年3月期第2四半期 577百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	69.21	—
28年3月期第2四半期	91.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	11,130		6,937		62.3		1,126.41	
28年3月期	11,859		6,859		57.8		1,113.83	

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 6,937百万円 28年3月期 6,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△1.0	950	△20.9	900	△21.4	700	△40.7	113.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	6,499,000 株	28年3月期	6,499,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	340,287 株	28年3月期	340,287 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	6,158,713 株	28年3月期2Q	6,158,758 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)における世界経済は、中国を中心とした新興国経済が前期後半の急速な冷え込みから持ち直しの動きとなりました。また、米国経済が引き続き堅調に推移するなど、先進国を中心とした経済は緩やかな回復基調となりました。一方で、中東の情勢不安に起因する地政学リスクや、欧米の今後の政治体制への不安が散見されるなど、世界経済の不確実性の高まりにより先行きは不透明な状況にあります。国内経済については、為替の円高基調が継続しているものの、景気全般としては緩やかな回復傾向となりました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、スマートフォン・車載関連の需要が堅調に推移し、当社グループの主要な取引先である光学・電子デバイス業界を下支えしましたが、企業各社の景況判断には慎重さが見られ、増産のための設備投資に対しては弱含みの動きとなりました。一方で、デバイスメーカー各社の次世代製品に向けた開発意欲は継続され、当社グループに対するサンプル成膜の依頼等は活発に推移しました。

こうした環境の中、当社グループでは、好調な市場を捉え既存分野への深掘りに取り組み拡販を推進するとともに、既存技術応用分野や新規市場の開拓に継続して注力しました。次世代製品に向けたデバイスメーカーからの依頼実験への対応や製品開発にも積極的に取り組みました。

生産面では、前期の受注残を背景に稼働率は良好に推移しました。また、ユーザーからの意見等をふまえた機種ごとのメンテナンス性の改善や、社内検査の強化による品質向上に引き続き取り組みました。

損益面では、安定した稼働率とグループ一丸となって取り組んでいるコストダウン推進などにより利益率の改善に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高42億42百万円(前年同四半期比24.7%減)、売上高44億47百万円(同10.6%減)となりました。

損益につきましては、経常利益5億14百万円(前年同四半期比11.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億26百万円(同24.7%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、下期以降の売上計上にずれ込んだものがありましたが、売上高は概ね順調に推移しました。一方、受注に関してはデバイスメーカー各社とともに増産設備投資にやや慎重な姿勢となり弱含みで推移しました。受注高は33億72百万円(前年同四半期比28.8%減)、売上高は35億77百万円(同12.3%減)、セグメント利益は8億21百万円(同0.3%増)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、TCXO(温度補償水晶発信器)の需要増を背景として、主に周波数調整工程向けの最新装置を中心に受注が好調に推移しました。

水晶デバイス装置の受注高は14億60百万円(前年同四半期比201.9%増)、売上高は11億21百万円(同44.6%増)となりました。

(光学装置)

光学業界では、反射防止膜成膜用装置の受注が堅調に推移しました。また、第1四半期にリリースしたALDという成膜手法を用いた新製品「Genesis-AR Series」について、積極的な拡販に努めました。当第2四半期連結累計期間では受注実績には至っておりませんが、当該装置に対する問合せやサンプル成膜の申入れは活発に推移しました。

光学装置の受注高は10億11百万円(前年同四半期比10.5%増)、売上高は7億4百万円(同23.6%減)となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、既存技術応用分野及び新規市場開拓に注力しましたが、各デバイスメーカが増産設備投資への慎重な姿勢を見せたことや、前期好調に推移したスマートフォン向け圧電部品製造用装置の反動減により、受注、売上ともに前年同四半期に対して減少となりました。

電子部品装置・その他装置の受注高は9億円(前年同四半期比73.0%減)、売上高は17億50百万円(同26.5%減)となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する当社装置の稼働状況の定期的な確認を励行するとともに、生産終了に伴うサポート終了品及び更新機種のご案内などを積極的に行い、装置の改造・修理や消耗品の販売に努めました。

サービス事業の売上高は8億70百万円(前年同四半期比2.9%減)、セグメント利益は2億9百万円(同6.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は80億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億95百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が6億12百万円増加したものの、現金及び預金が8億59百万円、仕掛品が2億88百万円減少したことによるものです。固定資産は30億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億34百万円減少しました。これは主に有形固定資産が減価償却等により1億6百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は111億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億29百万円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は31億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億94百万円減少しました。これは主に1年内償還予定の社債が8億円、1年内返済予定の長期借入金が2億円、支払手形及び買掛金が1億38百万円減少したことによるものです。固定負債は10億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億87円増加しました。これは主に社債が4億50百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は41億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億7百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は69億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円増加しました。これは主に為替換算調整勘定が87百万円減少したものの、利益剰余金が1億79百万円増加したことによるものです。

純資産の増加以上に負債が減少した結果、自己資本比率は62.3%(前連結会計年度末は57.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成28年5月12日付「平成29年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更ありません。

なお、当社グループを取り巻く市場動向を踏まえ、今後の業績推移につきましてはより慎重に注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額ははありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,117,294	3,258,073
受取手形及び売掛金	2,358,353	2,970,563
商品及び製品	4,295	3,879
仕掛品	1,752,923	1,464,537
原材料及び貯蔵品	139,269	119,860
繰延税金資産	227,608	202,959
その他	72,925	47,743
貸倒引当金	△46,043	△36,073
流動資産合計	8,626,626	8,031,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	674,867	632,388
機械装置及び運搬具(純額)	136,603	99,676
土地	2,066,249	2,066,249
その他(純額)	106,311	79,662
有形固定資産合計	2,984,032	2,877,977
無形固定資産		
リース資産	16,916	14,146
ソフトウェア仮勘定	45,618	45,658
その他	28,520	27,764
無形固定資産合計	91,055	87,569
投資その他の資産		
投資有価証券	146,897	122,676
その他	11,501	10,473
貸倒引当金	△211	△211
投資その他の資産合計	158,186	132,937
固定資産合計	3,233,274	3,098,484
資産合計	11,859,901	11,130,029

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,058,523	1,919,663
短期借入金	197,572	197,572
1年内返済予定の長期借入金	800,000	-
1年内償還予定の社債	200,000	-
リース債務	19,138	19,138
未払費用	186,100	154,046
未払法人税等	150,303	87,841
賞与引当金	249,569	238,215
役員賞与引当金	86,000	-
製品保証引当金	102,000	60,000
工事損失引当金	29,830	50,350
その他	350,681	408,426
流動負債合計	4,429,721	3,135,254
固定負債		
社債	-	450,000
長期借入金	-	50,000
リース債務	43,465	33,896
繰延税金負債	35,493	25,814
退職給付に係る負債	411,583	417,893
長期未払金	75,607	75,657
その他	4,250	4,250
固定負債合計	570,400	1,057,512
負債合計	5,000,121	4,192,767
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	1,999,918	2,179,803
自己株式	△278,137	△278,137
株主資本合計	6,652,861	6,832,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,084	56,269
為替換算調整勘定	124,273	36,858
退職給付に係る調整累計額	9,560	11,388
その他の包括利益累計額合計	206,918	104,515
純資産合計	6,859,779	6,937,262
負債純資産合計	11,859,901	11,130,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,976,049	4,447,149
売上原価	3,635,872	3,084,141
売上総利益	1,340,177	1,363,008
販売費及び一般管理費	740,600	763,297
営業利益	599,577	599,711
営業外収益		
受取利息	470	711
受取配当金	508	1,014
受取賃貸料	5,926	5,883
物品売却益	-	3,742
その他	3,057	3,455
営業外収益合計	9,963	14,807
営業外費用		
支払利息	5,538	5,813
売上割引	7,244	5,352
為替差損	5,065	74,068
賃貸物件関係費	10,113	1,088
社債発行費	-	11,974
その他	2,062	1,829
営業外費用合計	30,025	100,127
経常利益	579,515	514,391
特別損失		
固定資産除却損	179	70
特別損失合計	179	70
税金等調整前四半期純利益	579,336	514,320
法人税、住民税及び事業税	68,423	65,710
法人税等調整額	△54,789	22,375
法人税等合計	13,634	88,086
四半期純利益	565,702	426,233
親会社株主に帰属する四半期純利益	565,702	426,233

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	565,702	426,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△273	△16,815
為替換算調整勘定	14,474	△87,414
退職給付に係る調整額	△2,626	1,827
その他の包括利益合計	11,574	△102,402
四半期包括利益	577,277	323,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	577,277	323,831

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	579,336	514,320
減価償却費	55,874	74,692
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4,799	8,137
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△41,000	△86,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	91,286	△11,354
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△2,000	△42,000
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△1,720	20,520
受取利息及び受取配当金	△979	△1,725
支払利息	5,538	5,813
売上債権の増減額(△は増加)	△1,035,176	△670,371
たな卸資産の増減額(△は増加)	△334,233	277,046
未収消費税等の増減額(△は増加)	47,831	-
仕入債務の増減額(△は減少)	1,424,540	△60,886
未払消費税等の増減額(△は減少)	87,418	△82,678
その他	38,201	243,016
小計	910,121	188,531
利息及び配当金の受取額	980	1,725
利息の支払額	△5,600	△5,166
法人税等の支払額	△23,808	△129,220
営業活動によるキャッシュ・フロー	881,693	55,871
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,203	△1,204
有形固定資産の取得による支出	△32,343	△48,945
無形固定資産の取得による支出	△24,650	△12,919
その他	△688	480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,885	△62,588
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	41,131	-
社債の償還による支出	-	△800,000
社債の発行による収入	-	438,725
長期借入金の返済による支出	-	△200,000
長期借入れによる収入	-	50,000
配当金の支払額	△122,469	△244,987
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,846	△9,569
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,184	△765,832
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,995	△87,875
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	743,618	△860,424
現金及び現金同等物の期首残高	1,407,183	4,085,431
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,150,802	3,225,007

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,079,678	896,371	4,976,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,502	19,879	26,381
計	4,086,180	916,250	5,002,431
セグメント利益	819,187	197,580	1,016,767

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,016,767
セグメント間取引消去	524
全社費用(注)	△417,714
四半期連結損益計算書の営業利益	599,577

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,577,132	870,016	4,447,149
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,793	3,620	5,414
計	3,578,926	873,637	4,452,564
セグメント利益	821,537	209,983	1,031,520

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,031,520
セグメント間取引消去	10,153
全社費用(注)	△441,962
四半期連結損益計算書の営業利益	599,711

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,121,973	144.6
光学装置	704,705	76.4
電子部品装置	1,750,454	73.5
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	3,577,132	87.7
サービス事業		
部品販売	484,469	101.3
修理・その他	384,449	92.5
サービス事業計	868,918	97.2
合計	4,446,051	89.4

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	1,460,105	301.9	1,150,430	246.7
光学装置	1,011,505	110.5	1,093,329	109.8
電子部品装置	900,644	28.0	867,070	34.8
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	3,372,254	71.2	3,110,829	76.3
サービス事業				
部品販売	485,567	101.0	—	—
修理・その他	384,449	92.5	—	—
サービス事業計	870,016	97.1	—	—
合計	4,242,271	75.3	3,110,829	76.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,121,973	144.6
光学装置	704,705	76.4
電子部品装置	1,750,454	73.5
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	3,577,132	87.7
サービス事業		
部品販売	485,567	101.0
修理・その他	384,449	92.5
サービス事業計	870,016	97.1
合計	4,447,149	89.4

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。